

令和7年度 周南市地域創発事業委員会 会議録

1. 日時 令和8年3月19日(木) 18時00分～20時00分
2. 場所 周南市役所 本庁舎2階 共用会議室
3. 出席者 徳山小学校区コミュニティ推進協議会（以下、徳小校区）5名
岐山地区コミュニティ推進協議会（以下、岐山）4名
大河内地区コミュニティ推進協議会（以下、大河内）5名
（計14名）

周南市地域創発事業委員会

河田 正樹 委員長

船崎 美智子 委員、竹尾 真実 委員、上野 貴史 委員

4. 事務局 地域づくり推進課 福田、磯部、柴田
5. 傍聴者 10名
6. 会議内容

【第1部】（公開） 18:00～20:10

事業審査会

【第2部】（非公開） 20:20～21:00

評価等の取りまとめ

【第1部】 発言者・発言内容

発言者	発言内容
事務局	只今より令和7年度 周南市地域創発事業委員会を開催する。 地域振興部長あいさつ （地域振興部長 上野 あいさつ） 事業審査会の実施方法について説明する。 各団体の発表時間を10分、委員からの質疑応答を10分とする。 発表時間、残り3分、1分、終了時間になったら、ベルを鳴らして通知する。 終了時間となったら、発表の途中であっても、まとめに入っていただく。 それでは「徳山小学校区コミュニティ推進協議会」より、発表をお願いします。

徳小校区	(プレゼン資料により発表)
事務局	質疑応答に移る。 委員から、質問等をお願いする。
委員	カレンダーの取り組みは今後も継続して収益化する方法を考えていただきたい。 ふるさと納税などを活用するのも一つの方法と考えるがいかがか？
徳小	地域内の事業者の寄付を募りながら、今後も継続していきたい。 ふるさと納税も可能であれば、検討してみたい。
委員	史跡めぐりの取り組みは、地域クラブとして存続してはどうか？
徳小校区	地域クラブとしての取組も検討したが、体制整備が難しく断念した。
委員	徳山弁ラジオ体操の著作権は問題ないか？
徳小	著作権については確認のうえ申請を行っているので問題ない。
委員	カレンダーは自主財源としての価値が高いため、継続して取り組んでいただきたい。
委員	面白いアイデアがたくさんあって凄いなと思った。 活動にたくさんの方が関わられた成果なのだと感じた。 今後の活動の継続に向けて、自主財源の獲得がポイントになると思う。
委員	歴史探訪のクオリティがレベルアップしていると感じた。 中学校部活動の地域展開が本格的に始まるため、歴史探訪以外の活動にも中学生の参画を広げていただきたい。 また、オリジナルカレンダーのクオリティも年々高くなっている。
徳小校区	中学校とは引き続き連携して、様々な取り組みを行って行きたい。
事務局	以上で「徳山小学校区コミュニティ推進協議会」の発表及び質疑応答を終了とさせていただきます。 続いて、「岐山地区コミュニティ推進協議会」より、発表をお願いする。
岐山	(プレゼン資料により発表)
事務局	質疑応答に移る。 委員から、質問等をお願いする。
委員	非常に多岐に渡る活動をされているが、今後も継続が可能か？
岐山	地域内の団体とのコラボにより継続していきたいと考えている。
委員	ドローンの活動は中学校部活動の地域展開と兼ねるとよい。
委員	ドローンは災害時にも活用が可能。地域の防災力アップの観点からも様々な場面で機会の提供に努めていただきたい。

岐山	ドローンについてはドローンクラブを立ち上げて、地域内にとどまらず地域外にも活動を展開している。
委員	岐山地区を「知る・学ぶ・伝える」ことを念頭に置いた企画はすばらしいと感じた。今後の活動に対する予算確保をどのように考えているか？
岐山	他の団体とコラボした活動を行うことで、予算の削減につなげていきたい。
委員	ドローンの活動は中学校部活動の地域展開のモデル事業になり得ると感じた。体験会だけではなく、ドローンの資格取得講習会などを開催することで収益化につなげることも可能ではないかと考えます。
委員	川柳やものしり〇×クイズ、風景写真展など、地域のよいところを発信する取り組みが多く見られ、昨年度の取り組みを踏まえて改善が図られている。 中学生とコラボした取り組みも好感が持てる。中学校部活動の地域展開が本格的に始まることから、イベント実施のみならず、企画段階から中学生が関われるような仕組み作りを行うとよい。
事務局	以上で「岐山地区コミュニティ推進協議会」の発表及び質疑応答を終了とさせていただきます。 続いて、「大河内地区コミュニティ推進協議会」より、発表をお願いします。
大河内	(プレゼン資料により発表)
事務局	質疑応答に移る。 委員から、質問等をお願いします。
委員	メンマを商品化されたことがすばらしい。 収益を継続的に得られるような方法を模索してほしいと思う。
委員	子ども食堂の取り組みは「ちるちあネット」との連携を行っているか？
大河内	ちるちあネットと連携した取組みを行っている。
委員	メンマの取り組みは地域内だけではなく、道の駅などでの販売も検討してみてもは？
大河内	初年度は地域内だけで即完売となったため、次年度以降、販売数を増やし販路も拡大していきたいと考えている。
委員	メンマは徳地でも取り組んでいるので参考にしてみてもは？
大河内	徳地や長門の取り組みについては先進地視察を行い、ご助言をいただきながら取り組んできた。
委員	花壇整備の取り組みは花苗の費用が継続的に必要とのことだが、様々な助成金制度があるので活用するとよい。
大河内	花苗については、市の公園花とみどり課の助成を活用して活動を継続していく。

委員	<p>3年間でメンマや銀杏の販売までこぎつけたことが凄いと思う。</p> <p>各チームの責任者が責任感を持って取り組まれたことが伝わってきた。</p> <p>収益性も視野に入れて、計画性を持って取り組まれたことがすばらしいと感じた。</p>
委員	<p>販売されたメンマを食したが、とても美味しかった。</p> <p>3年間で販売までできた点がすばらしい。銀杏にも期待している。</p> <p>社協と連携した子ども食堂（地域食堂）の取り組みや花壇づくりなど、新しいことにチャレンジしながらも地に足の着いた活動で着実に成果につながっていると感じた。</p> <p>また、メンバーの年齢層が若く、今後の持続性、発展性にも期待が持てる。</p>
事務局	<p>以上で「大河内地区コミュニティ推進協議会」の発表及び質疑応答を終了とさせていた</p> <p>たく。</p> <p>それではここで周南市地域創発事業委員会 河田委員長より全体を通しての講評をい</p> <p>ただく。</p>
委員長	<p>今回発表された3団体ともに、地域特性を活かした取り組みを展開され、着実に成果</p> <p>につながっていると感じた。</p> <p>各委員からの意見にもあったように、今後はいかに財源を確保し取り組みを継続してい</p> <p>かが問われる。</p> <p>地域内外の団体との連携やふるさと振興財団の支援なども活用し、たくさんの人を巻き</p> <p>込みながら、これまでの取り組みをさらに発展していただきたい。</p> <p>各団体の皆さまの今後益々の活躍を期待している。</p>
事務局	<p>各団体に対する評価結果及び委員からの助言等については、取りまとめのうえ、後日通</p> <p>知する。</p> <p>以上を持って令和7年度 周南市地域創発事業委員会を終了とする。</p>